



スマイル！松本っ子だより

自ら、そして仲間と、未来をたくましく生きる力を身につける子

令和6年度「松本小学校スクールプラン」について、ご説明いたします。
校長 出口 津代子

福井市松本小学校 学校だより
令和6年5月9日 第2号
TEL 22-8813 FAX 22-8892
Mail matsu-e@fukui-city.ed.jp

学校教育目標 > 学校での全ての教育活動は、どんな子どもを育てるために行うのか、学校(校長)が示すもの

令和6年度 福井市松本小学校 『つなぐ・つなげる』スクールプラン

「自ら、そして仲間と」自分一人でも身につける。そして、仲間との関わり合いの中にも身につける。

学校教育目標

自ら、そして仲間と、未来をたくましく生きる力を身につける子

松本っ子につけたい5つの力です。

①自分を知り、信じる力と②相手を大切に、関わっていく力は密接につながっていて、たくましく生きるための土台となる2つの力としました。その上で、授業を中心とする全ての教育活動で③自分の考えをもち、伝える力④失敗をおそれず、挑戦する力をつける経験を積み上げ、⑤の仲間と協働し、感動する力につなげていきたいです!!

「未来をたくましく生きる力」今の松本っ子の様子から、「つけたい5つの力」を決めました。全ての教育活動を、この5つの力をつけるために行います。

全児童が考えた言葉をもとに企画委員会の子どもたちがまとめた、今年度スローガンです!!

学校教育目標を達成するための重点目標を3つ定め、具体的取組を実践する中で子どもに力がつき、数値目標も達成できるようにしていきます。(学校評価は7月と12月)

松本っ子みんなが 支え合う仲間作り

(1) 縦わり交流や学年間交流、全校児童活動力を活性化します。準備段階を大切に、全ての過程で5つの力をつけます。
(2) 4月より、全校で朝の歌を歌っています。全校で合わせた時、まさに感動しました! 集団としての大きな力になります!
(3) 学活や道徳ではもちろん、日常的に人間関係づくりのスキルを身につけていきます。それらつけた力を試す場を学校生活で保証します。学校はまちがえることも安心してできる場。「ごめん」と言える子、「次はこうしよう」と気づける子を育てます。

【目指す学校の姿】
子どもも大人も笑顔の松本小学校
児童: 「1人1人の笑顔あふれる仲間思いな松本っ子」
保護者: 「子どもが安心できる場所」「相談できる場所」
教職員: 「子どもの成長を応援する場」「語り合える場」
「チームワーク」「自分や家庭を大切にできる」

たくましく生きる松本っ子につけたい5つの力

⑤ 仲間と協働し、感動する力

③ 自分の考えをもち、伝える力 ④ 失敗をおそれず、挑戦する力

① 自分を知り、信じる力 ② 相手を大切に、関わっていく力

【福井市学校教育目標】
郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成
【福井市学校教育方針】 学びをつなぐ・未来につなげる
「わかる授業づくり」と「居場所づくり・絆づくり」
【キーワードは『つなぐ・つなげる』の松本小!】
人をつなぐ・教育活動をつなぐ・支援と説明でつなぐ

重点目標
松本っ子みんなが支え合う仲間作り
(1) あこがれられる・あこがれる関係づくり
(2) 歌声でつなぐ学校づくり
(3) 人間関係づくりのスキルアップ

自分(たち)の考えを、自分(たち)で、発信・実行する児童
(1) 「学級活動」「児童会活動」「行事」を繋ぎ児童主体の時間と場に
(2) 生活・総合的な学習を核とする年間指導計画と実施で力をつける
(3) 5つの力をつける授業づくりで「自己肯定感」「集団効力感」を

丁寧な支援と丁寧な説明で応える学校
(1) 個の「見取り」→共有→支援につなぐ松本小
(2) 保護者・地域とともに安全教育の推進
(3) ワクワク! 笑顔をつなぐ大作戦

具体的な取組
(1) 縦割り交流・学年間交流の活性化
縦割り・学年間交流活性化で上級生・下級生それぞれが役割を果たす経験を積み重ね、「あこがれられる・あこがれる」関係を醸成する。
(2) 歌でお互いを高め合い、尊重し合う
クラス・学年・全校で、一体となる経験を味わう。(朝の歌でつなぐ・行事で歌い合う)
(3) SST、SGEなどでスキルUP!
児童: 仲間作りのスキルを学び、生かす。
教員: 実践の場を学校生活で保証する。

(1) 児童が、学校生活での自分たちの課題を自分たちで解決する
「生徒指導(ルールやマナー)」「安全」「食」「保健」「行事」等の課題を、児童の実態や行事等と絡めて学級・学年・全校で考え、「自分たちで気づき、決め、実行する児童集団」を目指す。そのための特別活動の時間を保証、「5つの力」をつける場として最大限活用する。
(2) 全教科・領域をつないで力をつける教育活動の展開
生活科・総合的な学習と全教科・領域をつなぎ(カリマネ)、「全ての教育活動で総合的に力をつける」展開で学習効果の最大化を図る。
(3) 「ねらい」とつないで「わかる! 授業づくり(改善)」を果たす

(1) チーム共有と対応で児童に必要な支援に繋ぐ
→全方向からの気づきと即相談 0日目から
→保護者・外部との連携
→具体支援で改善
→安心・安全な学校へ
・教科担任制を各学年で(発達段階に応じて)
(2) 児童・PTA・地域と共に「学校安全」を考える
・避難訓練等の安全教育を保護者に公開する。
(3) 松本小の魅力発信 ~学校だより・HP等で~
・児童や教職員の様子を発信、地域とつなぐ。

数値目標
○自他を大切に、ともに取り組んでいる児童90%以上
○特活・生活総合・行事などで場を保証した教師100%

「5つの力」で「自己肯定感」「集団効力感」を ~子どもも大人も~
研究主題「自ら学び、仲間とつながる子」
①子どもが「わかった! できた!」を実感できる
②子どもが自分事としてとらえ、思いや考えをもてる
③子どもが学びを深めるための協働的な学習

○学校が楽しいと答える児童90%以上
○学校の考えが適切に伝えられ、教育目標や児童につけた力について理解した保護者90%以上
○学校全体で児童理解・支援につなげたと考えている教師100%

自分(たち)の考えを自分(たち)で、発信・実行する児童
(1) 学校生活には「課題」があり、それが児童の課題であるならば、児童が自分たちで考えたり、話し合ったりしてどうしたらよいか決めて、実行していくようにもっていきたいです。松本っ子が課題解決していくため、「学級活動」「児童会活動」を中心に児童が主体で考える時間・場にしていきます。

(2) それぞれの教科・領域でつける力はその教科だけで生きるのではない。国語でつけた力が生活科で生かされる、算数で身につけた力が総合的な学習で役に立つというように、全ての教育活動で児童一人一人の力を総合的につけていきます。
(3) 研究という方向からのアプローチです。「5つの力をつける」というねらいのもと、「自ら学び、仲間とつながる子」を育てるために、①~③の視点をもち、「授業づくり」「授業改善」を図っていきます。

丁寧な支援と丁寧な説明で応える学校

(1) 子ども一人を、担任を中心として様々な関わる大人で見取り、正確な把握に努めます。特に子どもの困り感にはチームで共有、特別支援・教育相談・生徒指導などのアプローチが適切なのか考え、具体支援につなげていきます。その際は、おうちの方や専門機関などと丁寧に連携をとります。
(2) 学校安全の取組をオープンにし、ご意見をいただきます。(2回目の避難訓練)
(3) 松本小の取組、児童の活動の様子などを発信し、保護者・地域とつないでいきます。